

## 第2学年美術科学習指導案

指導者 大友 一篤

- 1 日時 平成28年11月16日(水)第5校時
- 2 学級 一関市立大東中学校2年B組 男子12名 女子11名 23名 (美術室)
- 3 題材名 名画の魅力に迫る～絵の中に広がる空間に入り込んでみよう～
- 4 題材について

本校生徒の実態は、学習の有用性を感じている生徒の割合が90パーセントを超えており、授業に意欲を持って臨もうとする生徒が多い。しかしながら教科の趣向には相応のばらつきが見られ、特に美術科においては、意欲＝好き、が必ずしも一致していない。美術の授業に意欲的な参加をしている生徒の割合が80パーセントを超えているのに対して、美術が好きだという回答の割合が他教科に比べて少ない。美術の授業がわかるかという質問に対しては、学年が上がるにつれてマイナスの回答が増えている。考えられる要因としては、①知識や表現技能の習得に関してはわかったかわからなかったかが自分で判断しやすいが、自らが発想構想表現した活動等についての振り返り(まとめ)が難しい、②授業時数が少ないため学びが断片的になり、関心意欲の持続や技能の向上を十分に図ることができない、ことが考えられる。そこで今年度美術科の授業改善課題として、①「美術が好き」の回答割合を向上させる、②学習予定表を活用した授業づくりの工夫、をかかげ、前述した二つの要因を克服し、「美術がわかる」、「美術が好き」、な生徒の割合を向上させたいと考える。

また、生徒指導の側面から伺いみることのできる本学年の特徴を、①自他の考えを批評し、個々のもつ視野を広げたり、他者の考えを共有する活動を苦手としている、②個々の特性を考慮した学習活動が特に求められる、の2点ととらえ、授業づくりに際して考慮することとした。

さらに、授業改善課題の②の具体として、学習に向かう準備に着目し、予習や美術の素材集め(スクラップ)など、授業前後の活動を取り入れ学びに厚みをもたせたいと考える。

学習指導要領2学年及び3学年の目標の一つに、「自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力をたかめる。」と示されており、本題材は、内容のB鑑賞(1)ウおよびアをねらい設定した。加えて、学習活動をより活性化させ鑑賞活動の効果を高めるために、名画の鑑賞に造形活動を加え、体感しながら思考を引き出し、名画鑑賞の面白さを味わわせたいと考える。

事前に、世の東西の絵画にふれ、名画鑑賞への興味・関心、予備知識を持ち授業に臨むことができるように、夏休みの課題で「名画のスクラップ」を行った。そのスクラップをもとに生徒一人一人が自分が紹介したい名画の「名画ボックス」を制作し、そこから作品に込められた表現意図や工夫について探求し、感じ取ったことについて、話し合い活動を組織していきたい。(学年生徒の特徴をふまえ、鑑賞の視点を絞り込み、学習活動の入り口をわかりやすくすることで、個々の生徒に探究活動と話し合い活動を浸透させたい。)

また、一つの作品を教科書2ページ分を使った図版や細部のクローズアップ、展示風景など多様な視点から鑑賞ができる教科書の特長をいかし、作品の構成や演出を体感的に感じとってみるなど、名画鑑賞への導入を工夫し学習活動への関心・意欲を引き出したいと考える。

### 5 題材の指導と評価の計画

#### (1) 題材の目標

- ・ 東西の美術作品に関心をもち美術文化への理解を深めようとする。 【関心意欲態度】
- ・ 完成作品を想像し、適切に表現する。 【創造的な技能】
- ・ 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と工夫について考える。 【鑑賞の能力】
- ・ 鑑賞した作品などに対する自分の考えを他者と交流する。 【鑑賞の能力】

#### (2) 題材の短期シラバス

単元 時数	単位時・学習範囲等	教科書・ワーク ページ	学習授業内容(学習課題)	評価・確認事項(まとめ)	授業の評価確認問題等
5①	名画の魅力に迫る ～絵の中に広がる空間に入り込んでみよう～	教科書18～19	「最後の晩餐」を科学してみよう。	「最後の晩餐」のいろいろな仕掛けを見つけようとする。	「最後の晩餐」について 一点透視図法から見えてくる事実 舞台のような演出効果 「名画をスクラップ」の想起
5②	名画の魅力に迫る ～絵の中に広がる空間に入り込んでみよう～	教科書18～19	「私の名画」を選び、名画ボックスを制作しよう。	名画の演出に関心をもち「私の名画」を決めることができる。	空間を表現するための工夫 選んだ名画の作品名・作者名 「名画ボックス」の作り方
5③	名画の魅力に迫る ～絵の中に広がる空間に入り込んでみよう～	教科書18～19	絵の構成や演出の工夫を見つけながら「名画ボックス」を制作しよう。	舞台上の配置を考えながらエスキースを貼り付けることができる。	エスキース 正面から見て奥行きを確かめる。 実際の絵との違いは何。
5④	名画の魅力に迫る ～絵の中に広がる空間に入り込んでみよう～	教科書18～19	注目!の場面にスポットをあてて「名画ボックス」を完成させよう。	光の当て方や光彩を工夫し、自分が注目した部分を強調することができる。	名画ボックスに光の効果を加える。 光をとりこむ窓の制作
5⑤	名画の魅力に迫る ～絵の中に広がる空間に入り込んでみよう～	教科書18～19 本時	「私の名画」をプレゼンテーションしあおう、語りあおう。	「私の名画」をプレゼンテーションしあいながら鑑賞を深めることができる。	名画の名前、作者を5つおぼえる。 感想や気づきを美術の言語を使って語りあおう。

6 本時について

(1)本時のねらい

本時は題材の指導と評価の計画の「私の名画」をプレゼンテーションしながら鑑賞を深めることができる。」をねらったものである。「名画ボックス」の制作を通して気づいたり、考えたりしたことを生徒が相互に語り合い、作品鑑賞の奥深さや面白さを感じ、共有する時間になりたい。

(2)授業づくりの視点（研究テーマに関わって）

①「いわての授業づくり3つの視点」から

【学習の見通し】

学習予定表に明示された学習課題を全体で共有し、本時のゴールと具体的な学習活動のイメージをもたせる。

【学習課題を解決するための学習活動】

個の鑑賞、グループでの交流を通じた鑑賞、全体での交流を組織し、自他の学習活動を活発なものにする。

【学習の振り返り】

学習活動と、終末時の学習の記録への記入・発表から、学習課題の達成状況の自己評価と美術の学習への関心意欲について振り返らせる。

②生徒指導の視点から

自他の考えを批評し、個々のもつ視野を広げたり、他者の考えを共有する活動を苦手としている学年の実態を考慮し、鑑賞の視点を絞り込み、自分の考えと他者の考えを交流しやすくしたい。お互いの考えを交流することによって、他者の考えから新しい気づきを得たり、自身の視野が広がったりする体験を本時の学習活動の中でも大切にしていきたい。また、本時は題材のまとめであることから、「名画のスクラップ」や、「名画ボックス」の制作に意欲的に取り組んだ生徒を紹介し、美術への関心意欲を喚起したい。

(3)本時の目標

- ①「名画ボックス」を鑑賞し、作品鑑賞の奥深さや面白さを感じる。【関心意欲態度】
- ②鑑賞を通して感じたこと、考えたことを発表し合うことができる。【鑑賞の能力】

(4)本時の展開

段階	学習活動	指導の留意点	評価、授業づくりの視点
	0. 「名画ボックス」の相互鑑賞	0 始業前の学習準備として、お互いの「名画ボックス」を見せ合う。	・生徒会「トライワンミニッツ」
導入 5分	1 学習課題を把握し、本時学習の見通しをもつ。	1 本時学習課題の認知度を確認する。「プレゼンテーション」と「語りあう」をキーワードとして、本時学習課題を具体的に把握させる。	・「学習の記録」に学習課題が記入されているか確認する。 【学習の見通し】
<b>学習課題 「私の名画」をプレゼンテーションしあおう、語りあおう。</b>			
展開	2 「私の名画」について発表する。 10分	2 「私の名画」についてグループ内で発表しあう。他者の発表のポイントをメモしながら発表をきく。メモをもとに、グループの代表を選ぶ。  ※各グループで司会、記録(ボード記入)、発表を分担し活動する。	【課題解決のための学習活動】  ・グループの学習活動 〈本時目標①評価〉
	3 グループの代表の発表をきき、いろいろな作品の鑑賞をする。 10分	3 学習シートにメモをとりながら発表をきく。全発表が終わったなら、質問や発表への補足がないか全体になげかける。  *発表している名画をテレビに映す。	・グループの学習活動 〈本時目標①評価〉 〈本時目標②評価〉

35分	4 各グループの発表に対して感想を発表する。 5分	4 教科言語に置き換えたい発言に留意する。 背景が広い、遠い→奥行き、透視図法 かけをつけている→陰影 大げさなポーズ→ポーズの演出 色を薄くしている→明度を上げている 色がはっきり→コントラスト、彩度 など	・全体での学習活動
	5 仲間の制作した「名画ボックス」を自由に鑑賞し、感想を交流・発表する。 10分	5 学級全員が相互に「名画ボックス」を鑑賞しあい肯定的な感想を交流し合えるように、活動させたい。 6つの発表以外にこれも紹介したいと思った作品についていくつか発言させたい。	・学習活動のまとめ 【学習の振り返り】
35分 まとめ ・自分の考えをもち、仲間たちと語り合うことができた。 ・名画鑑賞の面白さを感じる事ができた。			
終末	6 授業全体の振り返りを記入する。	6 学習の記録の、「気づいたこと・考えたこと・感想」欄に記入させ、発表させる。  「名画スクラップ」、「名画ボックス制作」に意欲的に取り組んだ生徒の紹介。	・個の学習活動 〈本時目標①評価〉 〈本時目標②評価〉
10分	7 次時の予告を聞く	7 名画と関連付け、水墨画の作例を示しながら次時の予告をする。	・伊藤若冲「群鶏図」

(5)板書計画

**学習の流れ**

- ①グループごとに「私の名画」のプレゼンテーション。
- ②グループで話し合って紹介する名画を決定する。
- ③代表がグループで選んだ名画をプレゼンテーションする。
- ④感想を発表する。
- ⑤お互いの「名画ボックス」を鑑賞しあう。
- ⑥新たに紹介したい名画について発言する。
- ⑦学習の記録を記入し名画の魅力に迫るの振り返りする。

**学習課題** 「私の名画」をプレゼンテーションしあおう、語りあおう。

プレゼンテーション・・・発表      語りあう      ・質問  
 ・批評・・・理由のある自分の考え  
 ・語り合うときに大切なこと  
 相手の考えを認める

**まとめ**

- ・自分の考えをもち、仲間たちと語り合うことができた。
- ・名画鑑賞の面白さを感じる事ができた。

挙手人数で確認

※全体で発表される「名画」はテレビに映し出す。